

事業の基礎情報

実施主体	一般社団法人くまがしクラブ
事業実施地域	奈良県生駒郡平群町
共創の類型	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	子ども・子育て 教育・スポーツ・文化
共創パートナー	(交通事業者) エヌシーバス株式会社 (行政) 平群町 (まち未来推進課・総務防災課・教育委員会・子ども支援課)
運行形態	①区域運行型乗り合い事業「くまがしmobi」
運行主体	エヌシーバス株式会社

現状・課題

(地域交通の現状・課題に関する分析) 平群町は、65歳以上の人口の割合が38.8%と3人に1人以上が高齢者であり、20～39歳の人口割合が国や県と比較しても低い状況かつ共働き世帯の割合も高く、近年路線バスの経路廃止や運行数の減少で現状のバス運行は難しく、既存の地域交通網では住民の移動ニーズを満たせなくなっている。町内には4つの鉄道駅があり、路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシー、福祉有償運送など対象者に応じた移動手段が確保されているが、人口減少や高齢化に伴い利用者は減少傾向にある。地域住民の利便性向上と、利用者の棲み分けによる公共交通の活性化と維持継続が課題で地域の子ども達が安全安心な環境で放課後の居場所づくりとして交通手段の確保が急務である。保護者の送迎負担軽減と送迎有無による体験格差を解消する取組みが必要で令和5年度共創モデル人材育成事業において得られたノウハウや人材を令和6年度人材育成事業において更なる質的向上をはかり、並行して本事業において地域住民の利便性を図りながら地域交通の価値を高めていく。こうした状況を踏まえ、平群町では地域のスポーツ・文化資源を最大限に活用しながら「未来の地域を支えるモビリティ(交通)×教育」の新たな地域交通モデル事業として区域運行型乗り合い事業「くまがしmobi」を活用した実証運行を実施し、子ども達が少子化の中でも将来にわたりスポーツや文化芸術活動に継続して親しめる機会を確保し、地域住民のウェルビーイングの実現と地域活性化を推進する。

地域公共交通計画への位置づけ
(位置づけ予定を含む)

有 (令和6年6月25日承認)

運輸局・運輸支局への事前相談

近畿運輸局 交通企画課
近畿運輸局 奈良運輸支局

令和5年度共創モデル実証プロジェクトの補助有無

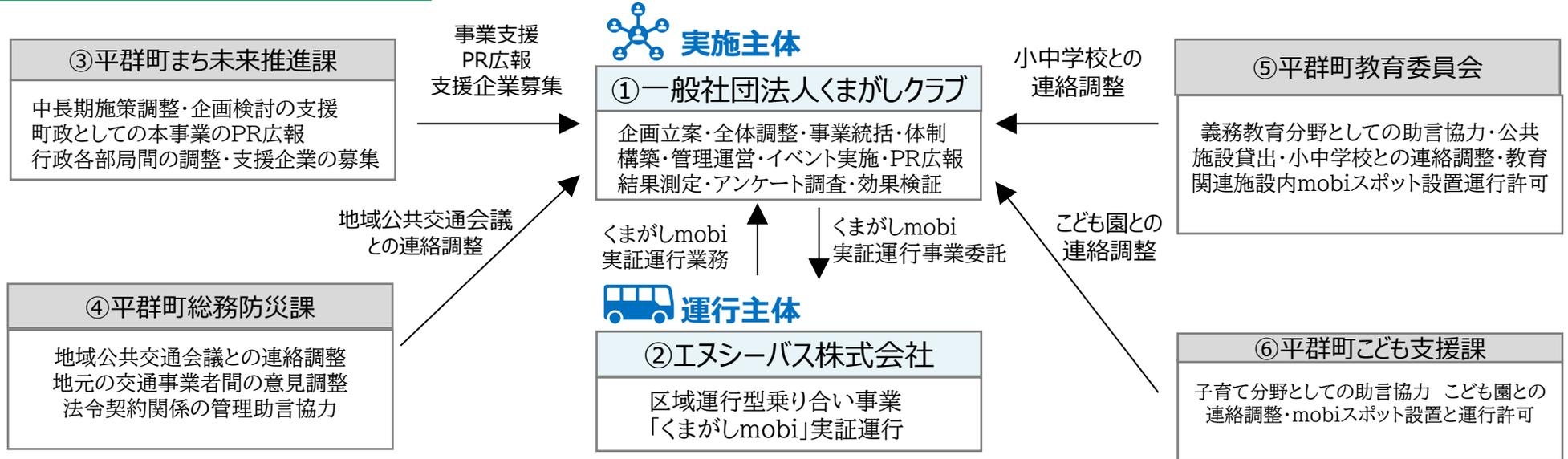
有

令和5年度共創モデル実証プロジェクト人材育成事業「教育×交通」分野において、ICTを活用したミーティング・研修・シンポジウム・体験乗車を企画し行政や交通事業者、有識者(地域住民)が連携・協働して地域のまちづくりを担う次世代の人材育成事業を実施。その結果、地域人材やノウハウの質的向上・継承・進化が目下の課題で令和6年度人材育成事業において更なる質的向上をはかり、並行して本事業において地域住民の利便性を図りながら地域交通の価値を高めていく。

平群町地域スポーツ・文化共創モデル実証運行事業

(平群町子ども達がつくる未来のまちづくりプラットフォーム)

事業の全体像・共創の仕組み



取組の概要

(事業の概要) ①行政・交通事業者・総合型地域スポーツクラブの多様な主体で共創(連携・協働)でプラットフォームを構成、地域交通を高めるミーティングを開催。②公共スポーツセンター内にmobiセンター(バスの配車や予約確認システムの構築とにぎわい待合所)開設、こども園や小中学校内にmobiスポット設置。③利用者のニーズ(子ども達の放課後活動)に沿ったポイントだけを結び最短ルートで目的地へと運ぶ区域運行型乗り合い事業「くまがしmobi」実証運行実施。(利用者数や道路状況に応じて北ルートにバス1台、南ルートにワゴン車1台) ④実証運行PRイベントや動画、町広報誌等を用いて地域住民、地元企業へ広報周知。⑤MaaS導入を見据え、運行結果や利用者アンケートで持続可能な取組にする為の分析検証。

(地域の関係者との連携・協働) 一般社団法人くまがしクラブが本事業を統括し運営主体として、各関係主体(行政(まち未来推進課・総務防災課・教育委員会・子ども支援課)・交通事業者(エヌシーバス株式会社)・総合型地域スポーツクラブ(地域住民))との連携・協働により、計画立案、システム構築、mobiセンター及びmobiスポット設置、実証運行、広報PR、分析調査等を実施する。本事業では新たな地域公共交通(くまがしmobi)の実証運行で子ども達の放課後活動を充実させた取り組みを実施し、地域交通の利用促進に加え、保護者の送迎負担軽減と送迎有無による体験格差を解消し、地域住民(利用者)からのフィードバックを丁寧に分析検証し、持続可能な取り組みへと発展させていく。

(地域公共交通ネットワークや既存交通との関係性) 実証運行および既存の路線バスとコミュニティバスの運行主体はエヌシーバス株式会社であり、事業内容等の調整は済んでおり重複しない。デマンドタクシーや福祉有償運送は主な対象が高齢者にあたる為、本事業と重複しない。

事業実施手順・スケジュール

▶「行政」「交通事業者」「総合型地域スポーツクラブ」の多様な事業主体による平群町共創プラットフォーム

- ① 一般社団法人くまがしクラブ(企画立案・全体調整・事業統括・体制構築・管理運営・イベント実施・PR広報・結果測定・アンケート調査・効果検証)
- ② エヌシーバス株式会社(区域運行型乗り合い事業「くまがしmobi」実証運行)
- ③ 平群町まち未来推進課(中長期施策調整・企画検討の支援・町政としての本事業のPR広報・行政各部局間の調整・支援企業の募集)
- ④ 平群町総務防災課(地域公共交通会議との連絡調整・地元の交通事業者間の意見調整・法令契約関係の管理助言協力)
- ⑤ 平群町教育委員会(義務教育分野としての助言協力・公共施設貸出・小中学校との連絡調整・教育関連施設内にmobiスポット設置及び運行許可)
- ⑥ 平群町子ども支援課(子育て分野としての助言協力・子ども園との連絡調整・子ども園敷地内にmobiスポット設置及び運行許可)

平群町子ども達がつくる 未来の町づくりプラットフォーム	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
① 平群町総合型地域スポーツクラブ 一般社団法人くまがしクラブ	事業申請・交付申請	プラットフォームミーティング開催 ↓ 移動特性把握 潜在ニーズ調査 データ取得共有 集計データの調査分析 事業計画作成	mobiセンター準備 mobiスポット準備 配車システム構築 mobi購入 参加者募集	mobiセンター(カスタマーサクセス・カスタマーサポート・にぎわい待合所)開設 くまがしmobiを活用した放課後活動・事業実績報告							他地域への展開 ノウハウの共有 MaaS導入へ向けた協議
② エヌシーバス株式会社			人材確保 運行準備	イベント準備・実施							
③ 平群町総務部 まち未来推進課			各部局調整 PR広報準備	利用者アンケート・効果検証 実績報告							
④ 平群町総務部 総務防災課			法令契約関係の管理助言協力	くまがしmobi 実証運行 北ルートバス1台・南ルートワゴン車1台							
⑤ 平群町教育委員会			公共施設貸出 mobiスポット設置 小中学校連絡	中長期施策調整・企画検討・事業PR広報・支援企業募集							
⑥ 平群町住民福祉部 子ども支援課			mobiスポット設置 子ども園連絡調整	地域公共交通会議との連絡調整・交通事業者間の意見調整							
				公共施設の貸出(mobiセンター)・mobiスポット設置							
				イベント準備・実施							
				利用者アンケート協力							
				利用者アンケート協力							

取組の詳細

(地域交通にもたらされると想定される効果)

地域交通の利便性・生産性・持続可能性が高まる▶「くまがしmobi」利用予定者数 延べ1,280名

放課後活動とリンクした新たな地域交通サービスの創出▶交通サービスの機会創出118回

地域住民のニーズに沿った新たな地域公共交通サービスの創出▶mobiセンター・mobiスポット (利用予定者数延べ1,380名)

(地域全体に及ぶと想定される効果)

新たな区域運行型乗り合い事業「くまがしmobi」の創出により子ども達のみならず多世代の地域住民の生活や日常活動を支える地域交通の基盤づくりと地域活性化▶くまがしmobi 実証運行回数118回 (利用予定者数1,280名)

他分野の移動需要に関するデータの利活用▶mobiセンター内での配車・予約確認サービスのシステム構築により本事業はコストを抑えた形態であり、他分野(医療介護福祉・観光まちづくり等)へ横展開が容易になる。

(補助事業実施後の予定)

※特に以下の効果が想定される場合は、その項目に○をつけ(複数選択可)、当該内容について上記に具体的に記載してください。

<input type="radio"/>	新たな移動手段の創出や各種送迎への地域住民の混乗などによる、地域住民の利便性向上	<input type="radio"/>	貨客混載や各種送迎の公共交通への集約など、交通事業者や地域の関係者の生産性向上
<input type="radio"/>	乗降データを取得する等、データを活用して、事業検証ができる環境整備	<input type="radio"/>	通院者や商業施設の利用者に関する情報など、他分野の移動需要に関するデータの利活用

年度	区域運行型乗り合い事業「くまがしmobi」教育・スポーツ・文化及び子ども・子育て分野での本格運用後、対象者層及び分野を広げ、成人・高齢者層、医療介護福祉・観光まちづくり分野へとMaaS導入を視野に事業の縦横展開を目指す。(MaaSサブスクモデル)		
令和7年	他分野共創 + MaaSサブスクモデル創出	◎成人(スポーツ・文化) ×くまがしmobi	月額運賃 + 月額教室会費想定
	他分野共創 + MaaSサブスクモデル創出	◎高齢者(医療・介護・福祉) ×くまがしmobi	月額運賃 + 月額教室会費想定
令和8年	他分野共創 + MaaSサブスクモデル創出	◎商業・農業 ×くまがしmobi	R7年度事業収入 + R8年度収入 + 他分野体験費 + 地元企業支援 想定
令和9年	他分野共創 + MaaSサブスクモデル創出	◎観光・まちづくり ×くまがしmobi	R8年度事業収入 + R9年度収入 + 他分野体験費 + 県内企業支援 想定

資金面	平群町(施設提供)
人材面(運転手の確保)	町広報誌等にて運転手人材募集の告知支援、総合型地域スポーツクラブ等の地域住民へ運転手拡大募集および育成の機会提供